

1 目的

火災図上訓練（F I G）は、建物の状況や設置されている消防用設備等を知る「現状の把握」を行うことや、火災が発生した場合に優先すべき行動や避難を円滑に行うための「対応力の強化」を目的とするものです。

図面上で実際に火災が起きたことをイメージしながら、訓練参加者全員で話し合うことで、ひとりでは気が付かなかった行動のメリット・デメリットを考えることができ、役割分担の見直しや火災発生時の行動を円滑にするための準備を行うことができます。訓練参加者のレベルに応じて「状況付与カード（応用編+）」を活用すると、予期せぬ事象に対しても臨機に対応できるか検証することができます。

準備するもの

- ☐ 切り取った「状況付与カード」
- ☐ 筆記具（ペン）
- ☐ 建物平面図・周辺地図
- ☐ メモ用紙（ふせん）
- ☐ 駒（入居者等を示すもの）

あると良いもの

- ☐ ホワイトボード（情報共有に使用）
- ☐ 名札又はビブス（役割の識別用に使用）

2 訓練シナリオの作成・条件の設定

- 1 火災発生時刻の設定
〔ポイント〕 昼間、夜間といった時間帯や手薄な時間帯を想定（例：職員（従業員）が少なく仮眠中である場合等）
- 2 出火場所の設定
〔ポイント〕 最も発生確率の高い場所、最も発生して欲しくない場所、出火したら最も危険な状況となる場所を想定（例：避難に時間を要する位置）
- 3 防火区画の確認
〔ポイント〕 煙は時間経過とともに拡大し床近くまで降下してくる。健全な人でも歩行速度は1m／秒であることを意識しておく。
- 4 扉や掃出し窓の開閉及び施錠状況の確認
〔ポイント〕 居室から廊下、バルコニー等の扉の開閉状態、施錠状態を設定しておく。
- 5 出火時刻に応じた職員や入居者等の配置
〔ポイント〕 なるべく実際に近い状況を設定する。また、居室内だけでなく共用のトイレ等、無施錠の場所にいることも想定し、火災発見や避難行動に厳しい条件を考慮する。

3 役割分担

5人～6人程度を1グループとし、コントローラーとプレイヤーに分かれます。

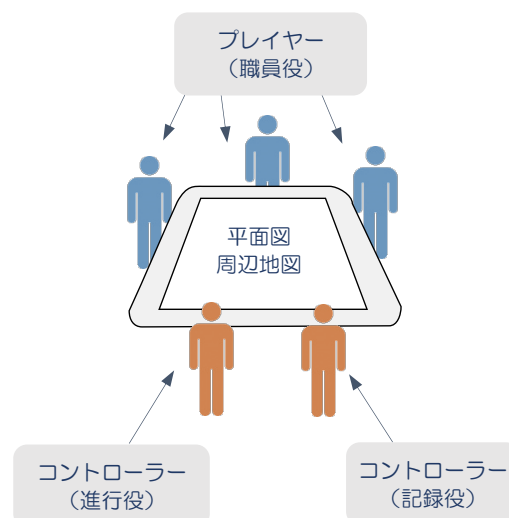
コントローラー（進行役1名・記録役1名）

進行役は「状況付与カード」をプレイヤーに配付しながら、進行管理を行います。

記録役は時間管理をしながら、対応チェック表の記録を行います。

プレイヤー（職員役3名程度）

職員役は実際に対応する職員数（隊長1、隊員2といった人数）とし、コントローラーから付与される「状況付与カード」に基づき対応について話し合い、付与された内容に対する報告等を行います。



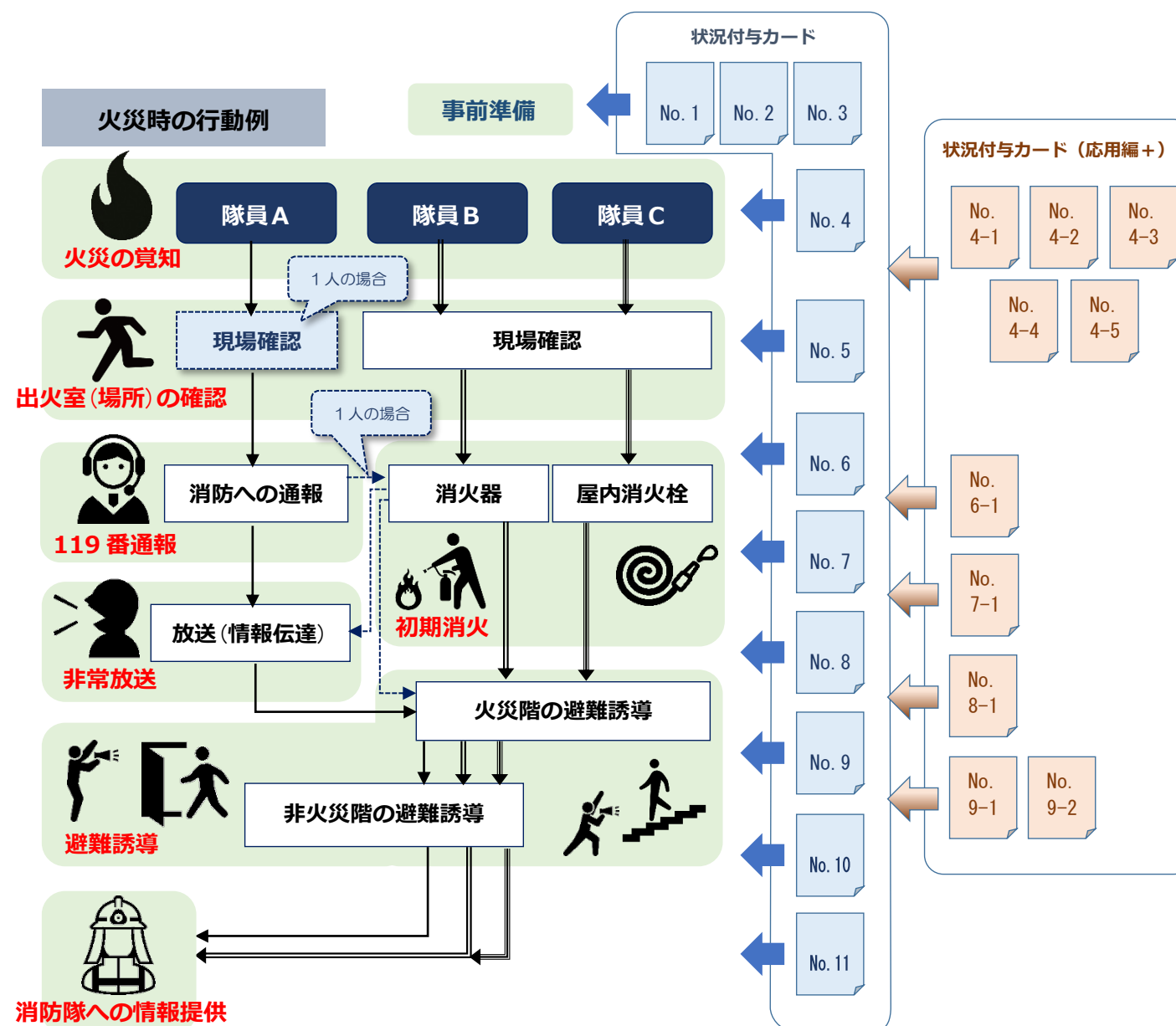
4 進め方

- ① コントローラーから「状況付与カード」（No. 1、No. 2、No. 3）をプレイヤーに配付します。書かれている内容を皆で議論しながら図面に書き込むなど準備をしてください。
- ② コントローラーは「状況付与カード」（No. 4 から順に）をプレイヤーに付与し、渡された人（プレイヤー）は内容を読み上げます。決められた時間（5～10分の時間を目安に）内で、行動内容の説明や不足事項等についての議論を行います。コントローラーは議論された内容に対し適宜フォローを行います。
- ③ 訓練終了後は、コントローラーを中心に反省会（ふりかえり）を行います。反省会で出された内容を次の訓練で生かせるよう記録をしておくことで効果が上がります。

進め方ポイント



- コントローラーからのフォローは、カード1枚ごとに行う方法と、反省会（ふりかえり）でまとめて行う方法があります。参加者のレベルや訓練に費やせる時間に合わせて行ってください。
- この訓練は、全てのカードを付与することや、対応の正解を求めることが目的ではありません。プレイヤー同士で対応を話し合うことで行動のメリット・デメリットを考えてください。



5 対応チェック表

「付与時間」欄は、状況付与を行った時間（〇時〇分）を記載します。
あらかじめ全体の訓練時間が長引かないよう逆算しておいてください。

火災の覚知、出火場所の確認	状況付与カード	付与時間
☐ スタート（非常ベル等の発報）後、出火場所の確認まで （職員役が1名の場合は自らが行う）	4（隊長へ）	
	5（隊員へ）	
☐ 受信盤を確認したか ☐ 消火器、懐中電灯、マスターキー、メガホン、連絡手段ツール（PHS・自火報の送受話器等）を持参したか ☐ 声を出し、周囲に火災を知らせる行動をしたか ☐ 次の行動に移る際、出火室のドアは閉めたか（火煙の拡大を遅らせるための行動を取ったか） ☐ 隊長への報告は適切か	出火室までの時間 分 秒間かかる	
119番通報	状況付与カード	付与時間
☐ 出火場所の確認後から模擬の119番通報を終えた時点まで （自動火災報知設備と連動する消防機関へ通報する火災報知設備が設置されている場合もコントローラーに模擬の119番通報を行ってみる）	6（隊長へ）	
☐ 内容は的確か		
非常放送		
☐ 模擬の119番通報から非常放送の内容を読み上げた時点まで （非常放送の設置がない場合はメガホン等で同内容を読み上げたこととする）		
☐ 聴き取りやすく話したか ☐ 機器の操作を習熟しているか（※コントローラーが使用方法をヒアリングしても良い）		
初期消火	状況付与カード	付与時間
☐ 出火場所の確認後から消火器または屋内消火栓の操作まで	7（消火実施者へ）	
	8（消火実施以外）	
☐ 操作は的確か（※コントローラーが使用方法をヒアリングしても良い） ☐ 消火器は複数用意しているか		
火災階の避難誘導	状況付与カード	付与時間
☐ 初期消火後から火災階の避難誘導まで	9（隊員へ）	
☐ 誘導の方法は的確か（※コントローラーが誘導方法をヒアリングしても良い） ☐ 逃げ遅れの確認をしているか（居室以外の無施錠の部屋を確認したか）	避難完了までの時間 分 秒間かかる	
非火災階の避難誘導	状況付与カード	付与時間
☐ 火災階の避難誘導後から非火災階の避難誘導まで	10（隊員へ）	
☐ 誘導の方法は的確か（※コントローラーが誘導方法をヒアリングしても良い） ☐ 逃げ遅れの確認はしているか（居室以外の無施錠の部屋を確認したか）	避難完了までの時間 分 秒間かかる	
消防隊への情報提供	状況付与カード	付与時間
☐ 避難誘導後から消防隊への情報提供終了まで	11（隊長へ）	
☐ 消防隊への提供内容は適正か		

～MEMO～

※ 動画の資料も参考にしてください

火災図上訓練(FIG:Fire Image Game)について



準備編



進め方編

状況付与カード

No.	1	時間	訓練前
付与先	プレイヤー		
件 名	事前準備①（建物状況の把握）		

（内 容）

- 建物内の消防用設備（消火器、屋内消火栓、自動火災報知設備の受信機、避難器具）、排煙設備、非常用エレベーター等の位置を用意した平面図に落としてください。
- 防火区画（防火戸等の位置や常時閉鎖されているかの状況）を確認してください。

状況付与カード

No.	2	時間	訓練前
付与先	プレイヤー		
件 名	事前準備②（火災時のイメージ）		

（内 容）

- 火災発生時刻を決めてください。
- 普段から施錠されている扉や掃出し窓が分かるよう平面図に印（×とか）をつけてください。
- 火災発生場所を決めてください。

※ シナリオ非提示型で行う場合は、火災発生場所の指定をコントローラーに任せて進めてください。

※ 火災階、非火災階の限界時間算定表を参考に、火災発生時の活動限界時間のイメージを持ってください。

状況付与カード

No.	3	時間	訓練前
付与先	プレイヤー		
件 名	事前準備③（人の配置）		

（内 容）

- 火災発生時にどこにいる想定か駒を平面図に置いてください。

※ 複数の従業員で対応する場合は、隊長となる人を決めてください。
- 避難者がどこにいる想定か駒を平面図に置いてください。

※ 駒が軽くて倒れやすい場合は、平面図を机にテープで留めておくといいです。

119 通報（対応例）

【119】119 番です。火事ですか救急ですか？
【隊長】火事です。

【119】場所はどこですか？
【隊長】〇〇区〇〇町〇〇です。

【119】建物名称と階数を教えてください。
【隊長】〇〇〇〇で〇〇階建てになります。

【119】何が燃えていますか？
【隊長】〇階の〇〇で〇〇が燃えています。

【119】けが人や逃げ遅れた人はいますか？
【隊長】〇〇が〇人います。（いません。）

【119】あなたのお名前と電話番号を教えてください。
【隊長】〇〇〇です、電話番号は〇〇〇です。

【119】では、消防車を向かわせます。

状況付与カード

No.	4	時間	
付与先	プレイヤー（隊長）		
件 名	火災の覚知		

（内 容）

火災発生を知らせる非常ベル（自動火災報知設備）が鳴りました。
隊長は隊員にどのような指示を出しますか？

※ 不足していることがあればプレイヤー同士で意見交換をしてください。

★チェック表…火災の覚知

状況付与カード

No.	5	時間	
付与先	プレイヤー（隊員）		
件 名	出火場所の確認		

（内 容）

出火場所に到着後どのように行動しますか？

※ 不足していることがあればプレイヤー同士で意見交換をしてください。

※ 火災発生場所へは、どれくらいの時間がかかると考えられるか話し合ってみてください。

★チェック表…出火室（場所）の確認

状況付与カード

No.	6	時間	
付与先	プレイヤー（隊長）		
件 名	1 1 9 通報・非常放送		

（内 容）

隊員に指示を出したあと、隊長としてどのように行動しますか？
また、建物内在館者に対しどのように周知しますか？

※ 不足していることがあればプレイヤー同士で意見交換をしてください。

※ 119 番通報はコントローラーに対し模擬で行ってください。

※ 通報装置がある場合も模擬 119 通報をするといざという時の訓練になります。

★チェック表…119 通報、非常放送

状況付与カード

No.	7	時間	
付与先	プレイヤー（消火実施者）		
件 名	消火活動		

（内 容）

あなたは現在消火活動をしています。どのような活動をしているか説明してください。

※ 不足していることがあればプレイヤー同士で意見交換をしてください。

★チェック表…初期消火

状況付与カード

No.	8	時間	
付与先	プレイヤー（消火実施者以外）		
件 名	消火実施者以外の活動		

（内 容）

他の隊員が消火活動をしています。あなたは、どのような活動する予定ですか？

※ 消火活動の応援を含め、他に必要となる活動や、不足していることがないかプレイヤー同士で意見交換してください。

★チェック表…初期消火

状況付与カード

No.	9	時間	
付与先	プレイヤー		
件 名	避難誘導について①		

（内 容）

消火活動に失敗しました。これから避難誘導を行いますが、どのように活動する予定ですか？

※ 火災階にいる全員が避難するのにどれくらいの時間が必要となるか、プレイヤー同士で意見交換してください。

★チェック表…火災階の避難誘導

状況付与カード

No.	10	時間	
付与先	プレイヤー		
件 名	避難誘導について②		

（内 容）

火災発生階への進入ができなくなりました。次にどのような活動を行いますか？

※ 火災階以外の階（非火災階）にいる全員が避難するのにどれくらいの時間が必要となるか、プレイヤー同士で意見交換をしてください。

★チェック表…非火災階の避難誘導

状況付与カード

No.	11	時間	
付与先	プレイヤー（隊長）		
件 名	公設消防隊へ情報提供		

（内 容）

公設消防隊が到着しました。どのような報告を行いますか？

※ 現在の状況等をプレイヤー同士で話し合い、内容をまとめてください。

★チェック表…消防隊への情報提供

公設消防隊が求める情報（例）

○ 逃げ遅れた人の有無（年齢・性別・自力歩行可能か）

○ 出火場所（火元の状況）

○ 負傷者の有無

○ 初期消火の状況

○ 消防用設備等の作動状況

○ 避難した人の状況

○ 間取り（図面があれば）

○ 複合防火対象物の場合は建物の使用状況

○ 出火時の在館者（従業員・入居者別）

○ その他特異な事項（危険物保有状況等）

用途毎のポイント①

■劇場・映画館・遊技場
収容人員（密度）が高く、大半が不特定多数の者で内部事情に精通していないことから群集心理の動揺が起きて大規模な人身事故を起こしやすい。室内の暗さや屋外に至るまでの避難通路、避難口の位置も誘導する際に注意が必要。

■飲食店・物品販売店舗
利用者の大半が不特定多数の者であり、飲食店については火気を使用しているほか酔客がいることもある。間取りによっては容易に避難できないこともあるため注意が必要。

■百貨店・大規模物品販売店舗
売り場には多種多量の可燃物商品が陳列されており、客は不特定多数かつ店内事情に不案内の者が多い。群集心理の動揺により大規模な人身事故を起こしやすい。

用途毎のポイント②

■ホテル・病院・福祉施設
ホテル宿泊客が施設内部の事情に精通していない場合が多い。病院、福祉施設については自力で避難行動が取れない人も含まれていたり、規模や時間帯によっては少数の職員が対応することになる。施錠されている扉の有無や水平避難を考えた避難誘導も考慮することが必要。

■学校・工場・倉庫
群集心理の動揺が起きないような誘導が必要。建物規模によっては駆け付けけるまでの時間がかかることも考慮すること。

■事務所
来客者に対する避難誘導だけでなく、従業員が群集心理の動揺により人身事故を起こさないようにする配慮も必要。避難施設の管理状況や防火区画の状況（防火戸や防火シャッター）も考慮すること。